

## 「たいせつなからだ」

## 1 題材名 「たいせつなからだ」

## 2 題材について

## (1) 設定の理由



せいけつなからだ

幼児期は、心身の成長が著しく、自分の体への興味や関心が高まる時期である。性的な事象についても知的探究心から疑問をもつようになる。この時期に、体には様々な働きがあり、その仕組みの素晴らしさに気付かせ、大切にしようとする気持ちを育てたい。また、幼児期という発達段階に合った体についての知識や、習慣が身に付くようにしていくことが必要である。

本時は、自分たちの体の機能の素晴らしさに気付かせる中で、男女の体の違いを認識させつつ、体を大切にするためにはどのようにするとよいのかを一緒に考える機会とする。また、自分と同じようにどの友達の体も大切であることも伝えていきたいと考え、本題材を設定した。

幼児にとっては、短い時間で、繰り返して指導をすることが効果的である。本題材に入る前に体への興味・関心を高めておくことや、指導の後に、実態に合わせて必要な内容を更に深めたり、重要な部分を繰り返し指導することで、体をより大切にしようとする態度を育てていくことができるものと思われる。

## (2) 題材構成

日常の中で、体への興味・関心を高め、命や体を大切にしようとする気持ちを育てる環境作りをしていく。

日常の指導から

- ・体や清潔に関する絵本の読み聞かせをする。
- ・等身大の人体に関する絵などを掲示する。
- ・身体計測などの機会に、体の成長を喜ぶ。
- ・トイレの便器の上手な使い方と、清潔保持の方法を知らせる。
- ・着替えの上手な仕方と、エチケットを知らせる。
- ・けんかなどのトラブルの際に、どの子の体も同じように大切であることを伝える。
- ・保護者に指導内容を伝え、協力を求めるとともに家庭でも話題にしてもらう。

養護教諭の保健指導から

- ・トイレの上手な使い方を知らせる。
- ・食べ物と排泄の関係を知らせる。

## 3 目標

- (1) 体はどれも素晴らしい働きをしていることに気付く。
- (2) 体を清潔にしたり、傷つけ合わないようにはたりしようとする。

4 指導展開例

	教師のかかわり	幼児の活動	留意点
導入 5分	<p>教材の人体君を使いながら、体の名前と働きを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目、耳、鼻、口・・・</li> <li>・食べ物を食べた後に、いらないうんちやおしっこになって出る。</li> <li>・男の子と女の子の体の形には、違う部分もあるけれど、働きはだいたい同じ。</li> <li>・いろいろな働きがあるね。</li> </ul>	<p>皆で答えたり、うなずく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目は、物を見る</li> <li>・耳は、音を聞く・・・</li> </ul> <p>・・・うん、違うよね</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体君（資料1）</li> <li>・トイレの使い方等</li> </ul>
<b>体を大切にする方法を考えてみよう。</b>			
展開 10分	<p>体を大切にする方法で知っていることを聞く。</p> <p>ばい菌は病気の元になるので、体をきれいにしておくことが大切であることを伝える。</p> <p>お風呂ごっこをしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでお風呂に入ろう</li> <li>・まず、よごれやすい所を洗おう</li> <li>・一度流して、温まろう</li> <li>・体中を洗ったら、ゆっくり温まろう</li> <li>・お風呂は、どんな気持ち？</li> </ul> <p>絵を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ある男の子が『先生、お友達にこんなことしたらだめだよね』ってこの絵を描いてくれたの。」</li> </ul> <p>体を大切にするには、乱暴したり、嫌なことをしないことも必要であることを伝える。</p>	<p>皆で答えたり、うなずいたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手を洗う</li> <li>・うがいをする</li> <li>・歯をみがく</li> <li>・お風呂に入る</li> <li>・シャンプーをする</li> </ul> <p>楽しそうな表情でお風呂ごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石けんのいいにおい</li> <li>・耳の後ろや足の指の間も洗うよ</li> <li>・肩まで入ったら、数を数えよう</li> <li>・きれいになった、気持ちいい</li> </ul> <p>絵を見て考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンチしている、痛そう</li> <li>・こっちは、意地悪しているみたい</li> <li>・されて、嫌だったことがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1に発言のあったことをはる。（資料2の図1）</li> <li>・資料1に発言のなかったことも、必要に応じて説明をしながらはる。（資料1の図3）</li> <li>・性器を清潔にする方法も知らせる。ただし、性器という言葉は用いない。</li> <li>・資料1の下にはる。（資料2の図2）</li> </ul>
<b>体を清潔にし、乱暴しないことが大切だね。</b>			
まとめ 5分	<p>絵を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もし、けんかしてもパンチしたり意地悪をするのではなく、話をよく聞いて、仲直りできるといいね。」</li> </ul> <p>体を大切にする方法を伝え、まとめる。</p>	<p>絵を見て考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うん</li> <li>・パンチしないよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2の図3</li> <li>・資料3</li> </ul>

## 5 資 料

【資料1】人体君(自作)

横40cm×縦100cm

材料……段ボール・色画用紙・ブッカー



図1 人体君



図2 人体君を開いたところ



図3 人体君に、【資料2】の  
絵をはったところ

【資料2】人体君にはる絵

(まんが性教育 たいせつなからだ 福原保子著 実業之日本社 1987)

図1



図2  
(自作)

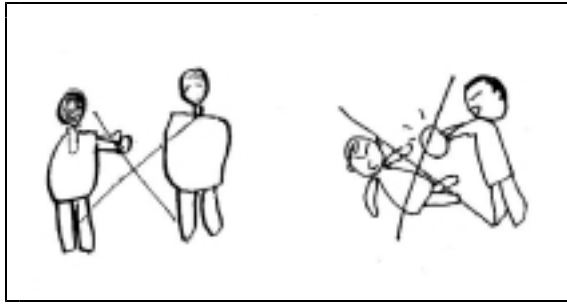
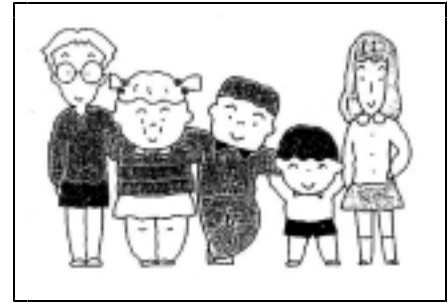


図3



【資料3】 学級掲示用の絵



【資料4】 指導後の保護者連絡用の保健便り (抜粋)

保健指導「たいせつなからだ」をしました

性教育の一環として、年少さんに、「たいせつなからだ」の指導をしました。その前に、「おふるだいすき」という体の清潔に結びつく絵本の読み聞かせを2回していました。指導の際の様子をお知らせします。

初めに、人体君という掲示物を見てもらいました。体はどこも素晴らしくできていることを伝え、体の名前と働きを聞いていくと、「目は、物を見る、色がわかる」「耳は音を聞く」・・・と、元気な答えが返ってきました。体の仕組みは、男女で大体同じだけれど性器は違うことを確認し、自分がどちらの性別か、わかっているかどうか聞いてみたところ、ほとんどの子が「わかるよ」とうなずいていました。

次に、体を清潔にすることが大切であることを伝え、清潔にする方法を聞いていくと、「手洗い、うがいをする」「歯磨きをする」「お風呂に入る」・・・と、日常していることを思い出しながら、答えていました。答えてくれたことをしている絵を、順に人体君にはっていきました。性器についても清潔にする方法を確認して、一段落したところで皆でおふるごっこをしました。石けんをよく泡立てて体中を洗ったり、シャンプーをしました。石けんを洗い流した後に、湯船につかってよく温まりました。お風呂から上がってタオルで体を拭くまねをしている時には、「ああ、いい匂い、いい気持ち！」と表情たっぷりに言っていました。

次に、自分の体が素晴らしいと同じに他の人の体も素晴らしいので大切にしよう、と伝えるために、2枚の絵を見てもらいました。友達にパンチしている絵と、いじわるを言っている絵です。子供たちは、それぞれの体験を思い出して、「されたことがある、痛かった」「されて嫌だったから、自分はない」というようなことを、口々に言い始めました。そして、「けんかしても話し合いで仲直りできるといいね」と言うと、うなずいていました。最後に、たくさんでてきた絵を教室掲示用に1枚にまとめた絵を見てもらい、要点を再確認して、指導を終わりました。

指導の間の子供たちの表情は、とても真剣でした。幼いうちから「命の大切さ」「体の大切さ」をわかりやすく、繰り返し伝えていく必要性を改めて感じました。ご家庭でも、どうぞ話題にしてみてください。